

PM_{2.5}成分モニタリング期間の代表性について

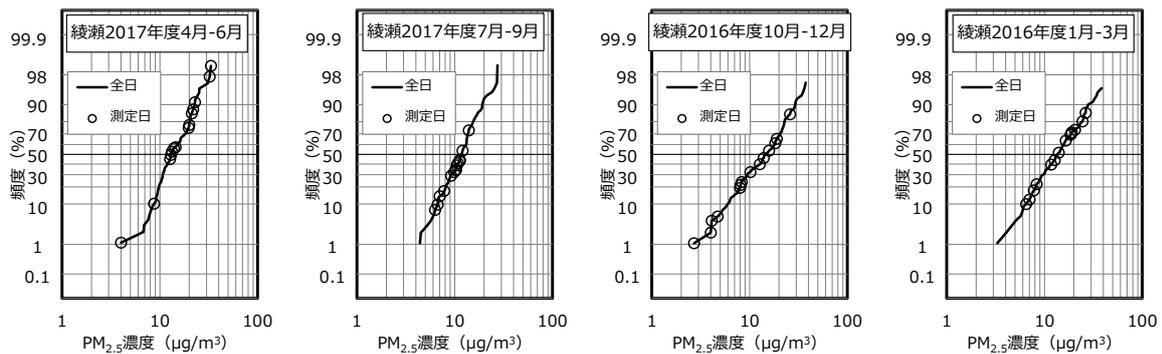
2017年度のPM_{2.5}成分モニタリング期間（年4回、各2週間）の当該季節での代表性を検討した。検討には期間中の大気汚染常時監視データ（自動測定機による質量濃度測定結果）を用いた。4-6月（春季）、7-9月（夏季）、10-12月（秋季）、1-3月（冬季）の日平均値の平均濃度、標準偏差と、各々の季節の成分モニタリング実施日の平均濃度、標準偏差の差の検定を行った。また、各季節のPM_{2.5}日平均値の累積度数分布とその期間中の成分モニタリングの日のデータを図示した。

2017年度 足立区綾瀬

(μg/m³)

	4-6月		7-9月		10-12月		1-3月	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
全日	15	6	12	5	16	9	16	10
測定日	18	8	10	2	11	7	15	6
検定	○	○	○	×	×	○	○	○

検定：平均値の差の検定(t検定：有意水準5%)、分散の比の検定(F検定：有意水準5%)

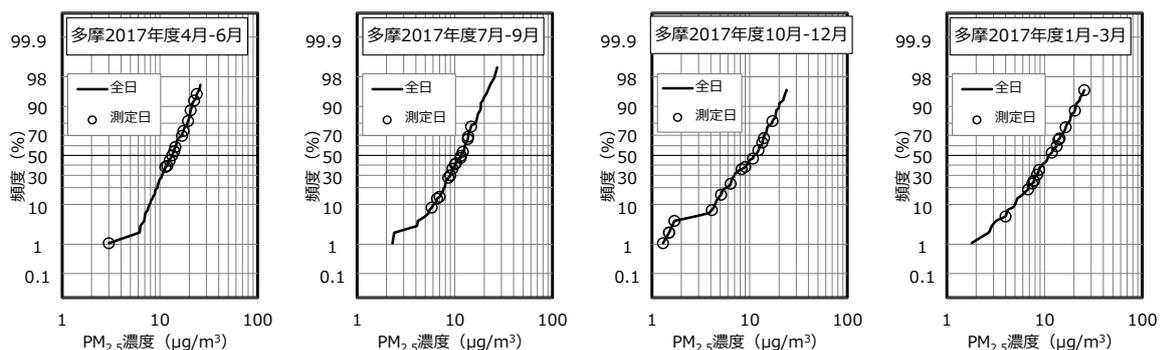


2017年度 多摩市愛宕

(μg/m³)

	4-6月		7-9月		10-12月		1-3月	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
全日	14	5	12	5	12	6	12	6
測定日	16	6	10	3	8	5	12	6
検定	○	○	○	×	×	○	○	○

検定：平均値の差の検定(t検定：有意水準5%)、分散の比の検定(F検定：有意水準5%)

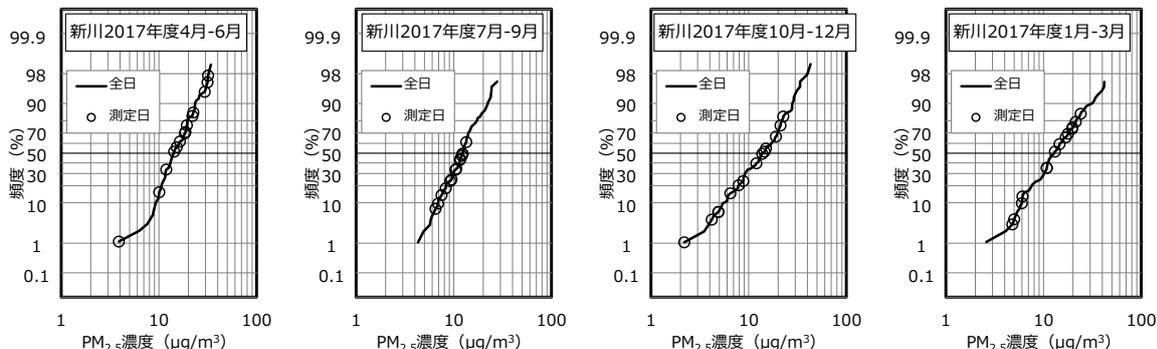


2017年度 永代通り新川

($\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	4-6月		7-9月		10-12月		1-3月	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
全日	16	6	13	6	16	9	16	10
測定日	19	8	10	2	11	7	14	7
検定	○	○	○	×	○	○	○	○

検定: 平均値の差の検定 (t検定: 有意水準5%)、分散の比の検定 (F検定: 有意水準5%)

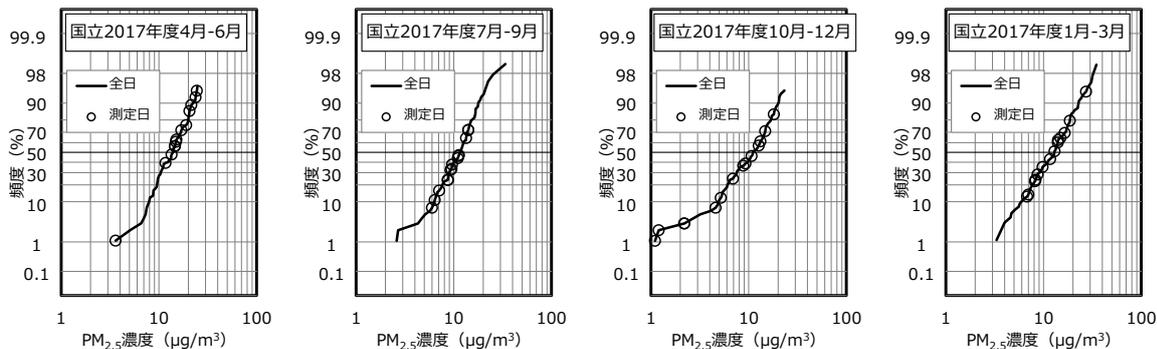


2017年度 甲州街道国立

($\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	4-6月		7-9月		10-12月		1-3月	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
全日	14	5	12	5	12	6	14	7
測定日	17	6	10	3	8	5	13	6
検定	○	○	○	×	×	○	○	○

検定: 平均値の差の検定 (t検定: 有意水準5%)、分散の比の検定 (F検定: 有意水準5%)



各地点とも夏季については全期間の標準偏差と成分モニタリング期間の標準偏差で差が見られ、成分モニタリング期間は夏季の中でも濃度変動の少ない期間であったと考えられる。また、秋季は全期間平均に比べ測定期間は低濃度側に偏った期間であったと言える。

注) 成分モニタリング期間中のうち多摩市愛宕の 5/10~5/13、甲州街道国立の 5/10~5/12 は自動測定機による常時監視データが欠測だったため、それぞれ東大和市奈良橋、東京環状長岡の値を用いて代表性の評価を行った。